

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

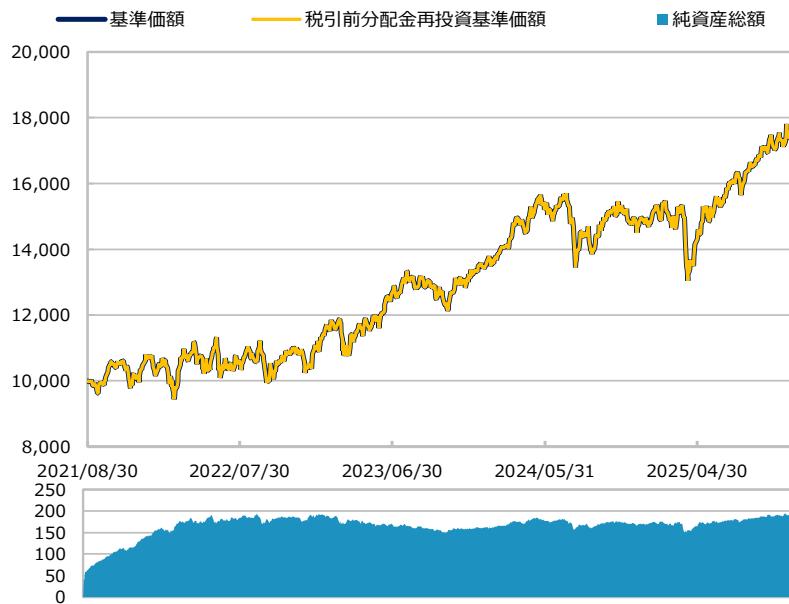
【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

ファンド設定日：2021年08月31日

日経新聞掲載名：B Wバリュ株

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	18,085	+791
純資産総額（百万円）	19,763	+838

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1ヶ月	2025/10/31	4.6
3ヶ月	2025/08/29	9.6
6ヶ月	2025/05/30	19.6
1年	2024/11/29	21.8
3年	2022/11/30	66.1
設定来	2021/08/31	80.9

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。

■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。

■ 謄落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/08/15	0
第2期	2023/08/15	0
第3期	2024/08/15	0
第4期	2025/08/15	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.8	-0.1
現金等	0.2	+0.1
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド」です。

## 基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	+537	+24	+513
先物等	0	0	0
為替	+277	—	—
分配金	0	—	—
その他	-23	—	—
合計	+791	+24	+513

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## 資産構成比率（%）

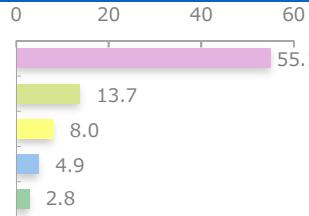
	当月末	前月比
株式	96.8	+0.6
先物等	0.0	0.0
現金等	3.2	-0.6
合計	100.0	0.0

## 組入上位5カ国・地域（%）



## 組入上位5通貨（%）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	55.1	+1.7
2 ユーロ	13.7	+0.1
3 イギリスポンド	8.0	-0.5
4 日本円	4.9	+0.2
5 ブラジルレアル	2.8	-0.4



## (ご参考) ポートフォリオ特性値（倍）

	当ファンド	世界株
予想PER	11.9	22.5
PBR	1.6	3.6

※ 当月末の各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

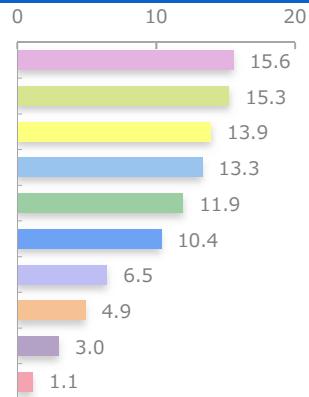
※ Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。

※ 世界株はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスです。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスは、当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 組入上位10業種（%）

	当月末	前月比
1 金融	15.6	+0.3
2 資本財・サービス	15.3	+0.7
3 生活必需品	13.9	+1.5
4 一般消費財・サービス	13.3	+0.7
5 コミュニケーション・サービス	11.9	-0.3
6 ヘルスケア	10.4	-1.1
7 情報技術	6.5	-0.6
8 エネルギー	4.9	-0.6
9 その他	3.0	+0.1
10 不動産	1.1	+0.1



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

※ このページはブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## 組入上位10銘柄（%）

(組入銘柄数 72)

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
1 百度（バイドゥ） ケイマン諸島 コミュニケーション・サービス	4.2	中国のインターネット検索エンジン最大手。ウェブサイトの検索のほか、動画や音楽ファイルなどの検索が強味。AI（人工知能）技術を基盤に自動運転タクシーなども手掛ける。	
2 アルファベット クラスA アメリカ コミュニケーション・サービス	3.2	検索エンジン、オンライン広告大手であり、携帯、地図、メール、クラウド、音楽、ゲーム、動画等あらゆるWebサービスも提供。AI、自動車、ヘルスケア、スマートシティ、金融分野等にも布石を打つ。	
3 デルタ航空 アメリカ 資本財・サービス	3.1	米国の大手航空会社。自社便および提携便を含め、世界中へのネットワークで定期旅客便の運航と貨物輸送を展開。	
4 ダラー・ゼネラル アメリカ 生活必需品	3.0	米国のディスカウントストア大手。大手メーカーのナショナルブランド（NB）商品に加え、価格が割安な独自のプライベートブランド（PB）商品も提供。主に米国で事業を展開。	
5 エアキャップ・ホールディングス オランダ 資本財・サービス	3.0	ダブリンに拠点を置く航空機リース大手。航空機、エンジン、ヘリコプターなどを保有し、グローバルでリース事業を展開する。企業買収により業務拡大にも積極的。	
6 サンタンデール銀行 スペイン 金融	2.7	スペインの銀行。欧州、南米、北米を中心にグローバルにビジネスを展開。世界的に強固な事業基盤を有しており、財務基盤も健全。	
7 BNPパリバ フランス 金融	2.4	フランスの銀行。欧州を中心にグローバルに事業を展開。個人・事業法人向け銀行業務の他、貯蓄・投資・保険等のソリューション提供業務を行う。	
8 アバクロニー & フィッチ アメリカ 一般消費財・サービス	2.4	米国の大手カジュアルファッショングループ。レディース、メンズ、子供向けのアパレル製品やアクセサリーなどの販売を手掛ける。デジタルと実店舗を融合したオムニチャネル戦略を採用。北米を中心に世界各国で事業を展開。	
9 CVSヘルス アメリカ ヘルスケア	2.2	米国のドラッグストアチェーン・ヘルスケア大手。主力の薬局サービスのほか、幅広い薬剤給付管理（PBM）サービスの提供も行う。	
10 フェデックス アメリカ 資本財・サービス	2.1	世界最大規模の総合航空貨物輸送会社。航空輸送と陸上輸送の国際的なネットワークを活用し、米国および世界各国・地域で配送サービスを展開。国際速達便輸送、宅配サービス、小包混載サービス、貨物輸送などを手掛ける。	

※ 組入銘柄の紹介目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

※ このページはブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### <市場動向>

米国株式市場は、前月末と比較して概ね横ばいとなりました。前月に史上最高値を更新していたS&P500インデックスなどの主要指数は、年内の追加利下げ期待が後退するにつれて、調整圧力が強まりました。政府機関の再開観測を受けて一旦は持ち直したものの、FRB（米連邦準備制度理事会）高官のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的なコメントに加えて、エヌビディアの四半期決算の発表を控えて、利食い売りが優勢となりました。その後、政府機能の再開に伴い、景気や物価動向に対する安心感から月末にかけて上昇しました。欧州株式市場は、前月末と比較して小幅に上昇しました。域内景気や企業決算に明るい動きが見られた一方で、米国の年内追加利下げ期待の後退や日中関係の悪化懸念などがマイナス要因となり、米国市場に追随した動きとなりました。

### <運用経過>

(ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド)

11月の当ファンドのパフォーマンスは、AI（人工知能）関連株主導の上昇相場に変調の兆しが見られ、米国株式市場の勢いが一服するなか、より伝統的なバリュー株が持ち直す展開となり、市場全体を上回りました。国別では、米国における銘柄選択が最もプラスに寄与しました。セクター別では、米アパレル大手のアバクロンビー＆フィッチの上昇を背景に一般消費財・サービスセクターが最もプラスに寄与したほか、情報技術セクターへの控えめなスタンス、なかでも米半導体最大手工ヌビディアの非保有がプラスに寄与しました。

11月は、堅固な事業基盤にもかかわらず株価が割安な水準にあると判断した日用品大手のキンバリー・クラーク（米国、生活必需品）や、フリーキャッシュフローの正常化が見込まれ、長期的なブランド価値も評価し、蒸留酒大手ディアジオ（英国、生活必需品）を新規に購入しました。また、自社株買いや事業再編、需要回復への期待から厨房機器メーカーのミドルビー（米国、資本財・サービス）を購入した一方、価格や財務面の構造的な圧力が強まり、事業環境が悪化していることから、FMC（米国、素材）を売却しました。

### <市場の見通しと今後の運用方針>

グローバル市場において米国とその他の地域との株価バリュエーション（投資価値評価）の乖離は依然として大きく、米ドルベースでみると非米国株式市場の年初来パフォーマンスは米国を上回っています。関税の影響は依然不透明ですが、足元ではコスト上昇が消費者に転嫁され、購買力の低下を招く兆しがみられることから、政府が一部措置を後退させています。こうした動きから、米国のプレミアム・バリュエーションには引き続き低下圧

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

※ このページはブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

力がかかると考えています。

これらを踏まえ、運用チームでは、引き続き米国への控えめなスタンスを維持します。一方、欧州、英国、一部の新興国については、相対的な割安感に加え業績改善や政策支援の早期実施が見込まれることから、2026年に向けて堅調に推移すると考え、強気のスタンスを維持します。セクターでは、引き続き情報技術セクターへの控えめなスタンスを維持しています。

当ファンドの運用においては、引き続き、当ポートフォリオの基本である企業の本源的価値を見極めたバリュー投資を徹底します。

＜注目する投資テーマ＞

○ 銀行株

- 魅力的なバリュエーションと規制緩和が引き続き追い風となる可能性がある。
- 強固な資本基盤を維持しつつ、高金利環境から恩恵を受ける態勢が整っている。

○ ブラジル株

- 自国通貨建て債務と最近の堅調な経済の状況に鑑みて、ファンダメンタルズ（基礎的条件）は依然として力強い。
- 必要な政策調整が実施されるにつれ、依然として状況改善の可能性が十分にある。

○ 欧州株

- 最もオーバーウェイトしているドイツの財政刺激策が依然として更なる上昇相場のきっかけになっている。
- 当初のバリュエーション・ギャップからは縮小しているものの依然として大きく、世界的にみて魅力的なバリュー投資機会が残っている。
- 労働市場の底堅さと家計の住宅ローン需要の増加により、経済指標は改善を示している。

○ 航空機関連株

- 市場では民間航空機の不足は続いている。
- PER（株価収益率）は1桁台と引き続き魅力的なバリュエーションを提供している。

○ ディスカウントストア株

- 米国、英国、日本の様々なディスカウントストアに投資機会が存在する。
- 消費にストレスを感じている中産階級が市場に流入する。
- 米国には、直接輸入している商品が少なく、実質的に関税の影響を受けにくい銘柄がある。また、関税は米国以外の銘柄にも利益をもたらす可能性がある。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## ファンドの特色

1. ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資します。
  - 不動産投資信託（REIT）、DR（預託証書）等を含みます。
2. マクロ分析に基づくトップダウンの国・通貨の投資判断とボトムアップの個別銘柄分析を組み合わせ、割安と判断した企業の株式に投資を行います。
3. 実質的な運用は、ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーが行います。
  - マザーファンドの運用にあたっては、ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
4. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
  - 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

### ■ 株式市場リスク

#### 【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 信用リスク

#### 【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 為替変動リスク

#### 【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

### ■ カントリーリスク

#### 【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

### ■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## 投資リスク

### ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

### ■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## お申込みメモ

### 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

### 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

### 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

### 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

### 信託期間

無期限（2021年8月31日設定）

### 決算日

毎年8月15日（休業日の場合は翌営業日）

### 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

### 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

### お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

●ニューヨークの取引所の休業日

●ロンドンの取引所の休業日

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料

購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- 信託財産留保額

ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）

ファンドの純資産総額に年1.727%（税抜き1.57%）の率を乗じた額です。

- その他の費用・手数料

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

- 監査法人等に支払われるファンドの監査費用

- 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料

- 資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 謹渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（謹渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および謹渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ : <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a> コールセンター : 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社SMBC信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。 ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシー

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# ブランディワイン・グローバルバリュー株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年11月28日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般投資顧問業協会	一般社団法人第一般社団法人	金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○			
西日本シティ T T 証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○						
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 登録金融機関（登金）第54号	○	○		○			

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来にわたる運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

## ■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.